

# 上越 谷浜・桑取地区での 研修の報告

平成23年度 食と地域の交流促進集落活性化対策

田舎で働き隊 研修員 舘江晋

# 農業研修を希望した理由

- 食料を生産することは、社会的・物質的に自立することと関係が深いと感じたこと。
- 都会で生まれ育って土に触れずに生きてきたため、農業の実体験に興味があったこと。

# 研修に臨む時の目的

- ① 稲と大根の栽培について実体験を通して習得すること。
- ② 上越に住む人と都会に住む人の考えの違いを理解し、橋渡しのできる人間になること。
- ③ 私自身が農業をする時に何が足りないかを発見すること。

# 研修内容

- 農作物の栽培→加工→出荷→販売といった一連の流れを実習する
- 桑取・谷浜地域の祭事や伝統行事に参加し、伝統文化を含む地域性を学ぶ

4月始め、稲の苗作り

5月、田植え



育苗



田植え後

# 草刈り



# マルチング



# 8月下旬、大根播種



# 9月・10月、稲刈り



# 10月～1月、大根収穫



# 大根の加工



# 大根の加工



# 雪の時期のハウス栽培



# スーパーやイベントでの販売



# 豪雪中山間地域での農業生産

- 家から畑・畑から畑までの(車あるいは徒歩での)移動に時間と労力・金銭的なコストがかかる。
- 畦畔の草刈りにも時間や労力・燃料代が必要となる。
- ツキノワグマ・イノシシ・マムシ・ハチ類等の危険のある動物も出没する。農作物への被害もある。
- ウリハムシ・カメムシ等の作物への害虫、うどんこ病などの病害がある。
- 土は粘土質で、かつミミズやオケラ、ナメクジ等の土壌動物を多く有している。
- 暴風により作物の株やマルチング・不織布等が吹き飛ばされることがある。
- 12月～3月には大量の降雪があるため、ビニールハウスでの栽培と出荷が売上増につながる。

# 日常生活について

- 春にはノビル、タラの芽、ウド、ワラビといった山菜が採れる。
- 自動車を使って、最寄りのコンビニまで15分、温泉施設まで10分、スーパー・大型書店まで20分、デパートまで25分かかる。
- 冬の降雪から、自動車の運転が困難になる。除雪に労力と時間がかかる。

# 研修成果

- 桑取・谷浜地区は農業にとって不利な面を持っているが、清浄な水や豊かな自然資源に恵まれている。それに基づいた農業や採集が可能である。
- 耕作放棄地が拡大しているため、そのぶん新規就農の余地がある。

# 可能性の拡大点

## 土地資源・野生の植物資源・清浄な水資源 の活用

一例ですが、

- 清浄な伏流水を利用した作物栽培
- 山菜の採集・利用
- 草刈り時の大敵であるクズの根から国産純正の本葛粉を作り、お菓子などの商品作りに使用すること

を考えました。

ご清聴ありがとうございました。

